

歳時記

大勢が集い、
一年の巡りを喜ぶ。

川南の魅力
FRONTIER SPIRIT

一月

- 新春たごあげ大会
- 高鍋神楽大神事

二月

- 町制施行記念分館
親善さわやかスポーツ大会
- 祈念祭(としごいのまつり)
- 天龍梅まつり

四月

- 春季県大学野球リーグ戦

六月

- 健康・福祉まつり

七月

- 金刀比羅神社まつり
- トロントロン土曜夜市



八月

- トロントロン土曜夜市
- フェスティバルイントロントロン
- 盆踊り(各地区)

九月

- 中学校体育大会
- 子どもフェスティバル
- 秋季県大学野球リーグ戦

十月

- 分館親善バレーボール大会
- 登り口の奴おどり
- 小学校運動会
- 長寿会老人スポーツ大会



十一月

- 護国神社慰霊祭
- 町内駅伝大会
- 白鬚・平田神社秋季大祭
- 宗麟原供養塔秋季例祭
- レインボーフェスティバル

十二月

- モーツァルト祭
- 電飾大作戦



コラム 「川南ことばの豆知識」

川南は「合衆国」というだけあって、開拓当時は様々な方言が飛び交っていた。だから、昔は

話していたら川南の中のどの地域の人か分かったという。戦後は交通事情が整うにつれ、方言の独自性が崩れていった。いまは大きく分けて「山ことば」と「浜ことば」に分かれるという人が多い。前者は宮崎弁と高鍋弁のミックスしたようなもの。後者は明らかに細島ことばが基になっている。例を挙げてみよう。

- ① 今どこに勤めていますか？ (通常)
 - ② 今どこに、いきよつと？ (宮崎弁)
- これに対して「通浜ことば」は、
- ③ 今、どこん、いかはつとかなの？ (目上)
 - ④ 今、どこん、いかはつとな？ (同僚)
 - ⑤ 今、どこん、いかはつとかな？ (目下)

通浜以外の人は②が多いはず。通浜ことばはよく、声が大きく言葉遣いが荒いといわれるが、独特な敬語が多く使われ、目上、同僚、目下に対する言葉がはっきり区別されている。アクセントやイントネーションも独特である。